

令和4年度地域活性化伝道師派遣状況報告書

令和5年4月10日
地方創生推進事務局

令和4年度は、6地域に対し、以下の5名の地域活性化伝道師を派遣した。

※「所属」は令和5年3月31日現在のもの。

No.	派遣先・相談主体	伝道師名	所属／肩書
1	宮城県石巻市	木田 悟	一般財団法人日本スポーツコミッション／代表理事 日本大学理工学部・千葉工業大学創造工学部／講師
2	福岡県香春町	矢野 富夫	梶原町／前高知県梶原町長
3	兵庫県豊岡市	田中 淳一	三重県／最高デジタル責任者 (CDO)
4	東京都板橋区	高木 超	慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科／特任助教
5	鳥取県三朝町	福留 強	聖徳大学／名誉教授 NPO 法人全国生涯学習まちづくり協会／会長
6	高知県南国市	木田 悟	一般財団法人日本スポーツコミッション／代表理事 日本大学理工学部・千葉工業大学創造工学部／講師

※地域活性化伝道師の詳細なプロフィールは、当推進事務局のホームページをご参照ください。

地方創生推進事務局＞施策＞地域活性化伝道師

<https://www.chisou.go.jp/tiiki/ouentai.html>

地域活性化・総合コンサルティング業務報告書

相談テーマ	スポーツを活用したまちづくり	相談主体	宮城県石巻市
派遣伝道師	木田 悟	ブロック名	東北ブロック
相談内容	<p>本市では、第2次石巻市総合計画において基本施策を牽引する施策を重点施策(リーディングプロジェクト)として位置づけており、「全ての世代が生きがいを持って活躍できるまちづくり」の中で「スポーツを活かしたまちづくり」を推進することとしています。</p> <p>まちづくりの手法のひとつとして、「スポーツコミッション」の設立を掲げており、推進手法について地域活性化伝道師のご指導をいただきたい。</p>		
相談への対応内容	<p>日時: 令和4年5月31日(火)</p> <p>1 打合せ 13:30~14:00</p> <p>2 視察① 14:00~15:30 石巻総合運動公園、石巻市南浜津波復興祈念公園、石巻魚市場</p> <p>3 石巻市長との意見交換 15:30~16:00</p> <p>4 視察② 16:00~17:00 石巻市総合体育館</p> <p>日時: 令和4年6月1日(水)</p> <p>5 スポーツ振興課との意見交換・事例紹介 8:45~9:45</p> <p>6 庁内関係部局を対象とした講演会 10:00~11:30</p> <p>【概要】スポーツを活用した石巻市のまちづくり。第三期スポーツ基本計画の視点から、スポーツを活用したまちづくりについて、教育・福祉・観光など庁内関係部署職員に向けた講演をいただいた。</p>		
成果	<p>講演では、スポーツコミッションの意義、必要性を国の計画(第3期スポーツ基本計画)をはじめ体系的に説明及び講演をいただいた。担当課及び庁内関係課への「スポーツコミッション」設立の意義の理解が促進された。また、「スポーツを活用したまちづくり」の重要性は今後の本市の総合計画を基に実行していく重要な視点であることを共有することができた。</p>		
課題	<p>スポーツコミッション設立に向けて、勉強会・講演会などを「庁内関係課」また、「スポーツ関連団体」、「産業関係団体」、「その他関連団体」へ重ねて実施することが必要であり、理解を深めるための時間、回数が必要である。</p>		
今後の方針	<p>スポーツ庁の補助事業である「スポーツ振興費補助金」の内定をいただいております。「スポーツコミッション設立」へ向けて庁内関係課及び関係団体との合意形成を図っていく。</p>		

地域活性化・総合コンサルティング業務報告書

相談テーマ	住民主体のまちづくり	相談主体	福岡県 香春町
派遣伝道師	矢野 富夫	ブロック名	九州ブロック
相談内容	<p>本町では、第5次総合計画及び第2期総合戦略中に住民主体のまちづくりの目標値を設定し、地域運営組織の推進に取り組んでいるところであり、地域の方との会議やワークショップを重ねてようやく令和4年1月に町内初となる地域運営組織（採銅所地域コミュニティ協議会）が発足した。しかし、地域運営組織の取り組みは始まったばかりで町全域で見ると住民の理解度はまだまだ低く、また、主体性を重視した地域づくり推進するためには、あらゆる方法を用いて根気強く啓発していく必要がある。</p> <p>まずは、地域運営組織の取り組みを町全体に周知し広げるべく、地域活性化伝道師による先進地における地域活動の事例紹介をいただくとともに、今後の本町における啓発活動のアドバイスをいただく。</p>		
相談への対応内容	<p>対応日：令和4年7月18日</p> <p>上記記載のとおり、本町で今後地域運営組織の理解や設立を広めるべく、令和4年7月18日に「香春町地域自治フォーラム」を開催した。フォーラムでは、地域活性化伝道師による先進地による地域づくりの事例の紹介と本町で先だて立ち上がった地域運営組織（採銅所地域コミュニティ協議会）に対する運営のアドバイスをいただいた。</p>		
成果	<p>本フォーラムには、地域の区長はじめ地域活動に携わってくれている方約80名の参加があり、参加者からは、「他地域の地域活動がこんな盛んに行われていることに驚いた」「これからの地域のことを真剣に考えていかなければいけない」という声をいただいた。また、参加者の多くは地域活動のキーマンであるため、フォーラムの内容を今後、地域へ広げてくれることが期待できる。</p> <p>採銅所地域コミュニティ協議会についても、協議会役員への運営アドバイスをいただくことができ、今後の活動の推進と発展が期待できる。</p> <p>今回の地域活性化伝道師の派遣は、住民主体のまちづくりを進めていくための地域への機運醸成を主な目的としていたものの、町としても推進体制を整えることの重要性を学ぶ機会となり、行政も含めて住民主体のまちづくりに対する機運の醸成に繋がった。</p> <p>町のHPに開催時に配布した冊子を掲載 https://www.town.kawara.fukuoka.jp/s008/info/010/chideza/20190702114025.html</p>		
課題	<p>本フォーラムは、これから町全体に地域運営組織を広げていくための一つのきっかけづくりに過ぎず、今後、地域でどう広げ展開していくのが課題である。具体的には、目に見える地域のキーマン以外に地域活動に興味や関心がある人材の発掘や掘り起しなどが考えられる。</p> <p>また、地域に対して活動の伴走支援を行う役割である行政も、高い知識と専門性が必要であるため、地域づくりに対する理解とスキルの向上が必要である。</p>		
今後の方針	<p>今回の様に他地域の先進事例を本町の地域で紹介する機会を設けたり、専門人材によるアドバイスを受けながら、地域が主体性を持ち、地域の実情に応じた形の地域運営組織の形成を働きかけていきたい。具体的には、小学校毎にワークショップを開催し、フォーラムでの事例も踏まえたうえで、改めてこれからの地域づくりを考える場をつくる予定である。（10月までに3校区でワークショップを開催予定）</p>		

地域活性化・総合コンサルティング業務報告書

相談テーマ	自治体DXについて	相談主体	兵庫県豊岡市
派遣伝道師	田中 淳一	ブロック名	近畿ブロック
相談内容	<p>豊岡市では、自治体DXやまちのDXを進めるにあたり、職員がそのノウハウを得る機会をなかなか持つことができないでいる。</p> <p>そこで、豊岡市のDXを進める一つの契機とするため、DX先進事例勉強会（市幹部職員対象）を開催し、三重県で行政のDX、地域のDXについて推し進められてきた豊富な経験もとに、DX推進に必要な知識を提供いただいた。</p> <p>また、豊岡市役所のDXの現状を視察いただき、三重県で実施された庁内のデジタル活用について、推進体制や進め方について助言をいただいた。</p>		
相談への対応内容	<ol style="list-style-type: none"> 2022年12月22日 DX先進事例勉強会（市幹部職員対象）開催 講師：地域活性化伝道師 田中淳一氏 内容：市幹部職員（市長、副市長、部・課長級）に向けた勉強会を開催し、自治体を取り巻く現状、三重県での事例の紹介、幹部職員が持つべきマインドについて講演をいただき、質疑応答に対応いただいた。 翌23日 豊岡市役所のDXの現状を視察いただき、DX所管部署職員に対して、DXの進め方などについて、事例をもとに助言をいただいた。 		
成果	<p>勉強会には市長を始め、幹部職員約70名（オンライン含む）が参加し、参加者アンケートにおいては、評価の平均が3.64（5段階評価）と多くの幹部職員から高い評価を得た。庁内のDXを進めて行く上での共通認識の醸成ができた。</p> <p>翌日の視察では庁内にDXを推進する上での意識すべきこと、デジタルツールの活用をいかに進めていくか等について学ぶことができた。</p>		
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・今回は、幹部職員、DX担当部署を対象とした取組みとなったが、今後他の職員への展開（研修内容など）が課題となる。 ・DX推進には環境の変化に応じ、常に新たな取組みに対応する必要があるため、政策決定のあり方が課題となる。 		
今後の方針	<p>今回市長を含む幹部職員向け勉強会を開催したが、今後は中堅職員、若手職員についてもDX研修を開催する予定にしている。また、DX施策の政策決定の仕組みを検討する予定である。</p>		

地域活性化・総合コンサルティング業務報告書

相談テーマ	SDGsへの理解促進	相談主体	東京都板橋区
派遣伝道師	高木 超	ブロック名	首都圏ブロック
相談内容	<p>板橋区は2022年度SDGs未来都市へ選定された。このことを契機に、区民・企業等へSDGsの普及展開を進めていく。まずは、普及役を担っていく職員自身に対し、SDGsへの理解促進・業務への活用を推進していくための職員研修を実施する。</p> <p>地方創生SDGsの一環であるSDGs未来都市選定自治体として、今後はSDGsをより一層推進していく立場となる。自治体でのアドバイザー等の実践的なノウハウを持った高木先生による、計画へのSDGsの反映や業務へのSDGsの活用に関する職員研修を実施することで、職員に対するSDGsの普及を図る。</p>		
相談への対応内容	<p>板橋区役所職員を対象とした研修に伝道師を派遣し、SDGsに関する講演を行った。</p> <p>日時: 令和5年1月13日(金) 13:30~15:30</p> <p>概要:</p> <ul style="list-style-type: none"> ○研修名: 主任職・技能主任職承認選考合格者研修 ○参加者: 84人 ○内容: 主任職・技能主任職に昇任する心構えとして、期待される役割を認識し、研修を通して自身の果たすべき役割を考え、自覚を促すことで、成長意欲や貢献意欲の向上を図る研修である。区の重点課題でもあるSDGsを講義内容のひとつに組み込み、SDGsの基礎知識、活用手法などについて学び、SDGsの理解促進を図る。 		
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・SDGsの基礎知識だけではなく、SDGsをツールとして活用する手法を学ぶことができた。(例) 問いを生み出し視点を変えること、取組の影響を幅広く見て、相乗効果を多く起こす、高い目標を設定し、バックキャストでアプローチする、指標として活用し地域の現状を客観的に捉えエビデンスとする。 ・グループワークを通じ、実際に自ら考えることで、一層の理解促進につながった。 ・今後、各課の事業推進や計画策定を担うなど、係の中心としての役割が期待される主任職等に対し、SDGsの視点を持ち業務を推進するきっかけづくりとなった。 		
課題	<p>今回は主任職・技能主任職という職層への研修を実施したが、SDGsの視点で施策・事業を展開していくには、より上位の職層(係長、管理職)へアプローチをすることで、組織全体で理解を深め、一貫性のある施策・事業の立案につながっていくと考える。</p> <p>また、実際に事業や計画策定に取り組んでいく担当者向けに、実践的な研修等を行っていくことで、業務にも活かしていくことが期待できる。</p> <p>こういった対象者に重点的にアプローチしていくか、効果的な手法とともに検討していきたい。</p>		
今後の方針	<p>今回の研修の内容を踏まえ、日々の業務にSDGsが活用できるよう、SDGs担当課として手法を検討していく。また、研修担当ともコミュニケーションを取りながら、効果的な方法を検討したい。</p> <p>来年度は、計画策定に資するSDGsを活用した研修を担当者向けに実施していきたいと考えている。</p>		

地域活性化・総合コンサルティング業務報告書

相談テーマ	お客様に寄り添った『おもてなし』のありかたを学ぶ	相談主体	三朝町
派遣伝道師	福留 強	ブロック名	中国ブロック
相談内容	<p>三朝町は、世界屈指のラドン泉である三朝温泉を中心とした観光の町です。平成27年度には、三朝温泉と国宝投入堂を中心とした三徳山を紡ぐストーリーが認められ、日本遺産「六根清浄と六感治癒の地」として認定をいただきました。</p> <p>これらの観光資源を活用し、誘客促進及び交流人口の増加に繋げる取り組みを継続して進めていくために、関係者の人材育成を進めることが求められています。</p> <p>コロナ禍での旅行形態も大きく変化し、団体から個人・小グループへ変わることで、受け入れ側も従来の「おもてなし」を進化することが求められています。観光客が減少する中で、その他の観光地との差別化を図り、誘客促進に繋げる必要があります。</p> <p>日本遺産を活用した観光誘客・人材育成に繋げるため、おもてなしの手法や心構え、地域イベントの活用事例などを学び、次年度に向けた協議・町内観光資源の現地視察を行っていただく。</p>		
相談への対応内容	<p>令和5年1月23日</p> <p>①三朝町職員、三朝温泉観光協会、旅館協同組合関係者との懇談</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光でまちづくり、着地型観光と指導者養成について ・お客様に寄り添った『おもてなし』のありかたを学ぶ ・事業提案(生涯学習講座の開催) <p>②三朝町観光資源の視察(三朝温泉街)</p> <p>※当初は2日目に町内の観光資源の視察を行う計画であったが、大雪による航空便の欠航が予想されたため、2日目の予定を中止し、1日目に視察を繰り上げて実施した。</p>		
成果	<p>福留伝道師からは、全国の観光地の成功事例と、60代以上の世代(創年)を対象とした生きがいづくりの手法として生涯学習講座の開催の提案をいただいた。</p> <p>創年世代への生涯学習により、創年の生きがいをつくり、まちづくりへの参画に繋げてまちを元気にするという提案であった。生涯学習のテーマは「観光」として、町民の資質や自覚を向上させることで、活発な町民活動を創出し、まちの「おもてなし力」を養うというものであった。</p> <p>観光関係者向けの専門的な資質や技能向上というよりは、町民向けの、まちづくりの意欲や意識向上のために有益な手法としてお話をいただいた。</p>		
課題	<p>生涯学習講座により、町民の資質向上や自発的な取り組みに繋げるためには、すぐに成果が現れるのではなく、継続して開催することが必要である。</p> <p>また、町民6,000人の町で、人口も限られている。すべての創年世代に興味や関心を持ってもらえるとは限らない。開催方法の工夫や啓発が必要である。</p>		
今後の方針	<p>本町が掲げる街の将来像「笑顔と元気があふれ輝く町」の実現にむけた「ひとづくり(人材育成)」のために有益な提案をいただいた。今回提案いただいた事業の検討とあわせて、引き続きご指導をいただきながら、町の主要産業である観光をもとに、活発な町民活動の創出につなげる方策について考えていきたい。</p>		

地域活性化・総合コンサルティング業務報告書

相談テーマ	交通アクセスとスポーツを組み合わせたまちづくり	相談主体	高知県南国市
派遣伝道師	木田 悟	ブロック名	四国ブロック
相談内容	<p>1. 南国市の街並み及びスポーツ資源(グラウンド・体育館等)の視察 2. スポーツコミッション設立のための講演・勉強会 空港・高速道路・JRなど交通アクセスに恵まれた環境を活かし、スポーツを活用したまちづくりを行うための助言をいただく。 また、スポーツコミッションの設立に向けた助言をいただく。</p>		
相談への対応内容	<p>1. 南国市の街並み(空港から高速道路、海沿い、中心部、山間部)及び、市内スポーツ施設の視察(初日3時間、2日目1時間) 2. スポーツを活用したまちづくりに資する講演会及び意見交換(2日目2時間)</p>		
成果	<p>南国市の街並み及びスポーツ施設を外部からの目で見えていただき、交通アクセスの観点からは非常に恵まれていることを、伝道師の方に確認していただいた。また、視察していただいたスポーツ施設の管理の在り方について、現場及び講演の中で、市・指定管理者・利用者・地元住民が一体となった管理を行うことで、行政コストを抑えつつ持続的にできる可能性があるとの助言をいただいた。</p> <p>また、まちづくり及びスポーツコミッションについての講演及び勉強会には、市のスポーツ担当部署、地方創生担当部署、並びにスポーツ施設指定管理者が参加し、スポーツコミッションの設立に向けた助言やまちづくり、またスポーツ担当部署及び指定管理者の業務分担等の在り方についてなど、様々な助言をいただいた。</p>		
課題	<p>南国市のスポーツ施設のほとんどが稼働から20年以上経過し、老朽化が進んでいる。施設の修繕や更新にかかる予算の確保・慢性的な職員数の不足の解消等が課題である。 まちづくりの観点では、現在、南国市内におけるスポーツも活用したツーリズムで利用できると思われる宿泊施設が非常に少ないと考える。現在、都市構造再編集集中支援事業にて市中心部の整備を進めており、その中で宿泊施設の誘致等を協議中である。</p>		
今後の方針	<p>木田伝道師には今後も継続した指導助言をいただき、スポーツコミッションの設立に向けて準備を進めていきたい。また、スポーツ担当部署及び施設指定管理者だけでなく、市全体でのまちづくりに取り組んでいきたい。</p>		